

2023年7月12日(水)

## 『 ガバナー補佐訪問 』

岐阜 A グループ ガバナー補佐 石井亮一 様

本年度 岐阜 A グループのガバナー補佐を務めます、岐阜ロータリークラブ在籍の石井亮一と申します。1年お世話になります。よろしくお願いいたします。

ガバナー補佐の役目は、クラブと地区の架け橋の役割だと言われていますが、私自身、まだよく理解していません。1年過ぎたころにおぼろげに分かるようになれば幸いだと思っています。大変頼りないガバナー補佐ですが、皆様のご支援を受けて最後まで務めたいと存じます。



というわけで早速ですが、岐阜 A グループの I.M. を 8 月 26 日土曜日に実施いたします。今回の I.M. は、岐阜クラブの辻正会員に講演をお願いしました。ご存じの方も多いかと存じますが、9月に誕生日を迎えると 95 歳になられますが、毎週例会には出席し、食事もしっかり召し上がっています。本当に元気なお方であります。演題は「私の夢」、きっと心にしみるお話をされるものと信じています。是非、多くの会員のご参加をお願いします。

話は変わりますが、せっかくお時間を頂いたので、ロータリーの話をしたと思います。毎週の例会では、ここに掲げた RI のテーマ シンボルマークが目に入ります。テーマは「世界に希望を生み出そう」であり、マークは勾玉が 3 つでしょうか。今日は、このシンボルマークについて少しお話しをさせていただきます。

ゴードン・マッキナリー会長のテーマ発表講演の中でこんなことが述べられています。

タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです。」「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

出典 (<https://www.rotary.org/ja/r-gordon-r-mcinnally-wants-rotary-members-create-hope-world>)

この勾玉といったシンボルマークは、タイの女性が手渡した貝殻であり、シンボルマークになりました。

例会のたびにこの三枚の貝殻を目にします、是非、三枚の貝殻の話も思い出してください。これで、私の挨拶といたします。1年間よろしくお願いいたします。